

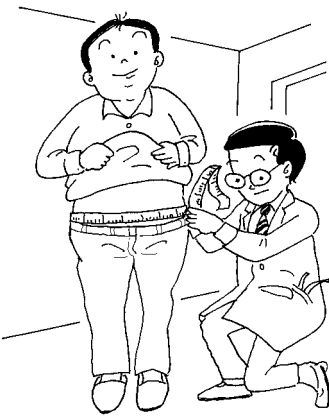
特定健診 健診環境の改善に向け 通年健診等の実施の考えは

府中市医師会とも協議し 受診しやすい環境整備を進める

村崎 啓二議員 平成20年4月から特定健診制度が開始された。市民の理解は進んでおらず、健診受診者が減少する見込みと聞くが、国民健康保

険及び後期高齢者医療保険の被保険者の特定健診について、受診券の有効期間が過ぎた人に対する救済措置と通年健診の実施の考えを聞きたい。市民生活部長 実施時期等については、市の実施計画に沿って進めたいと考えているが、医療機関の混雑状況や受診率の状況を踏まえ、府中市医師会とも協議し、受診しやすい環境整備を進める。

また、市の健康増進事業推進のため、情報提供として健康手帳を健診受診者全員に配布できないか。福祉保健部長 医療機関で受診結果を渡す際に健康手帳を配付してもらうなど、府中市医師会とも相談していきたい。



府中市医師会とも相談していきたい。

1万トンごみ減量大作戦 その成果は

市民や事業者の協力により 一定の成果が得られた

小野寺 淳議員 市環境基本計画の重点施策の一つである、「10年間でごみの50%削減を

目指します」の前期5年間の目標として、「1万トンごみ減量大作戦」を実施しているが、成果を聞きたい。市長 市民や事業者の協力により、一定の成果が得られた。ごみ改革推進本部長 前期5年間の最終年度となる平成20年度末の目標達成見込みは、基準年度の13年度と比較し、約9395トンの減で、達成

率は約94%となる。議員 その成果は、発刊予定のごみの情報紙等で、市民に明確に示し、次の段階の取組について議論してほしい。また、集団回収の未着手自治会等への働き掛けを提案してきたが、その後の取組は。ごみ改革推進本部長 重要な施策と位置付けており、拡充に努めている。19年度は12団体の増となっており、今後は市内全体に拡充できるように取組を進めたい。

校庭の芝生化 認識は

実施に向け 検討を進めていく

杉村 康之議員 校庭の芝生化については、平成19年度から都は補助事業を実施している。そこで、芝生化に向けた市の認識を聞きたい。また、モデル校選定の具体的な考えは。

教育長 校庭芝生化への取組が必要と認識しており、今後の補助を活用するなどして実施に向け検討を進めていく。教育部長 芝生の良好な状態の維持には、保護者や地域等の理解と協力が必要不可欠と考える。こうした地域をあげ

学習指導要領により 体験学習の確保が難しくなるのでは 各校の工夫により 確保していきたい

高野 律雄議員 本市では、以前から小学校の自然体験学習や中学校の職場体験学習を実施しており、これらは、有形無形の効果が期待できる貴重なものと認識している。多くの場合、総合的な学習の時間で実施していると聞く。新学習指導要領では、総合的な学習の時間が削減され、体験学習時間の確保が難しくなると思うがどう対応するのか。教育部長 各校の工夫により

体験的な学習の時間を確保し



▲職場体験学習から

ていきたい。また、宿泊を伴う自然体験学習等は、特別活動に位置づけているため、影響は受けないと考えている。議員 中学校の職場体験は、受け入れ事業所が中々見つからないと聞くため、市役所など公的施設でもっと受け入れたいが、現在の状況は。教育部長 平成17年度の実績では、市役所各課及び関連施設50か所で受け入れている。今後も受け入れについて、積極的に働き掛けていきたい。

プラスチックごみ 寄居町に搬入せず 資源化する考えは

この状況が続く以上 搬入せざるを得ない

前田 弘子議員 容器包装プラスチックを選別し、資源に回すための施設であるリサイクルプラザが開業して2年余り経過した。

しかし、汚れ等のためリサイクルに回せず、多摩川衛生組合や埼玉県寄居町の民間施設での焼却量が資源化したものより多



▲リサイクルプラザ内の作業風景

いと聞く。そこで、寄居町に持つていかずに資源化の割合を増やす施策について、市の考えは。ごみ改革推進本部長 現在、回収される廃プラスチックは、容器包装リサイクル協会に委託処理ができていく汚れたものが多い。今後とも、市民に分別の徹底とすぎ等の励行をお願いしていきたい。議員 寄居町の民間施設への平成21年度の搬入方針は。

妊婦届中からの支援策 保健師の専門性を生かす考えは 他市の状況を調査したい

重田 益美議員 妊婦届の提出時に、保健師がその専門性を生かして対応することは、妊婦の安心等につながる。そこで、保健師を増員し、窓口体制を変更、強化する考えは。福祉保健部長 受理時に保健師が対応することは困難ケースの発見につながる可能性もあるが、保健師の増員、確保等の難しい問題もある。他市の状況等を調査し、検討していきたい。

議員 国は、平成21年度から指定管理者制度について

課税の発生に対し 年度内に修正処理を終えているか

迅速に修正処理を行い 年度内に終えている

村井 浩議員 平成20年に住民税を規定より多く、市民の銀行口座から引き落とししたことがあったか聞きたい。税務管財部長 ある納税者から申告のあった配当割除額について、データの入力漏れにより、申告内容と課税が不一致となったケースがあった事実を認識している。議員 誤課税が発生したときは、年度内に修正処理が終わり、年度を越したときには1件もないかと思っていのか。税務管財部長 誤課税を確定したときは、迅速に修正処理を行い、年度内にこれまでも

終えているところである。副市長 市税は、市の行財政運営のために貴重な財源であり、納税者の皆様に信頼していただくためには、まず公平公正かつ正確な納税事務が求められるので、多少のミスも黙認することなく、常に緊張感を持って、厳しく指導していく。

府中市の市民墓地を予定している稲城市の里山開発について